

ロラの話聞いて

法学部 1 年 A. E.

1. 日本とフィリピンの歴史

1941 年 12 月、日本軍はアメリカ軍の領土であったフィリピン・ルソン島に上陸しマニラを占領し 1942 年 1 月から日本の軍政下においた。日本軍はゲリラ討伐を理由に残酷な作戦を実行。そこで複数の慰安所が作られ、日本人、中国人、朝鮮人が多く送り込まれた。フィリピン人の女性もそこで慰安婦となった。1956 年日比賠償協定により日比の戦争は終結した。

2. Lila Pilipina¹

Lila Pilipina とは、ケソン市郊外にある日本軍慰安婦であったロラたちの生活の面倒をみたり、歴史の真実を伝える団体。日本政府からの正式な謝罪、歴史教科書への記載の要求、福祉支援としての賠償金をロラ達とともに求めている。

3. ロラのはなし

ロラとは、タガログ語でおばあちゃんという意味。ここでは慰安婦だった人たちをおばあちゃんでもあるのでロラとよんでいる。そのため声をあげたロラのうち多くの方は、高齢のため亡くなった。しかし今回、私たちは一人のロラに話を伺うことができた。

彼女は戦前、バコロド²の近くに両親と兄 2 人と 5 人に暮らしていた。父と兄はサトウキビ畑で働き、母は雑貨屋を営んでおり好きなものは何でも買える平和な生活を送っていた。

1942 年日本軍が植民地化して、サトウキビ畑は駐屯地とされた。その後、家族はミノルマンで水牛と馬をつれ疎開生活を始めた。田舎で野菜を作りながら暮らしていた。ロラは家の中で雌鶏 17 匹の世話を任され、その卵や鶏肉を消費していた。日本軍はロラ達の暮らしていた場所にたびたび訪れ、塩や醤油とそれらを交換してほしいといった。

1943 年から 45 年にバコロドの近くの飛行場を整備してほしいと日本軍にいわれ、家族で女、こども関係なく石を集める重労働を行った。一日働いて、2 ガロンのお米をもらった。すると、空から日本軍も見ただことのない飛行機が飛びビラをばらまいた。そこには日本軍の飛行場で働く危険という忠告のビラであった。それを見たロラ達家族はそこで働くのを辞め、再び雌鶏の世話をしサツマイモや山芋のようなものを育てて食べていた。

ある日、それらを売るために市場に行くと日本軍がやってきてゲリラの疑いがかかったフィリピン人の男性らを広場に連れてきた。一列に並べ次々に男性たちの首を切っていた。逃げようとした人に日本軍は鉄砲で撃ち殺した。それを市場の陰から見ていたロラは日本軍の一人に見つけられて追いかけられ拉致された。手を縛られてトラックに乗せられると別の日本兵と数人のフィリピン人女性がいた。

¹<https://firenyc.wordpress.com/tag/lila-pilipina/>

² フィリピン・ネグロス島北部にある島内最大都市

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%90%E3%82%B3%E3%83%AD%E3%83%89>

タリサイ市³の駐屯地につくと一緒にいた女性たちとは別の部屋に連れていかれた。そこでロラは日本兵によって強姦された。一人帰ると次々に日本兵がやってきて、ロラが抵抗すると髪をつかまれ殴られた。気を失ってしばらくするとフィリピン人の女性がやってきて抵抗してはいけな
いと言われた。次の日から毎日毎日、ロラは日本兵からの強姦を受けただ泣くことしかできな
かった。

3週間ほど経ちアメリカ軍がネグロスに近づき、ゲリラと共に市民も日本兵を殺していった。
アメリカ軍を恐れ、駐屯地の日本兵たちは山へ逃げていきアメリカ軍が駐屯地に着いた頃には日
本兵はいなかった。家に帰ると母は泣いてロラが生きていたことを喜んだ。母には駐屯地での出
来事を話したが、父には恥ずかしくて話せなかった。

1945年、ロラが14歳の時に終戦を迎えた。小学校6年生として学校に戻り、卒業後はマニラ
に出稼ぎで家を出た。出稼ぎといっても辛い思い出が残る場所からでたいという思いもあったとい
う。最初は高校の教師をしている人の家で家事などをしていたが、靴屋に移りそこで出会った中
国系フィリピン人と結婚した。夫にも恥ずかしくて自分が子どものときに強姦された話はしなかつ
た。夫との間には5人の子どもを授かったが、夫とは離婚し一人で育てた。

1992年ロラ・ロサがテレビでフィリピンの慰安婦問題について呼びかけているのを見た。はじ
めはなぜ恥ずかしい事実を公表するのか不思議であったが、一年後、失った正義を取り戻したい
と思い声をあげた。家族には内緒で活動に参加していたが、テレビを見ていた子どもに気づかれ
怒られ、なじられた。しかし、自分が好き好んで慰安婦をしていたわけではないことと、日本軍
が王様のようにふるまっていたことを話し、理解してもらった。すると家族もその活動と一緒に
参加してくれるようになった。

4. 日本政府に対して

ロラたちは日本政府に対して公式な謝罪、歴史教科書への掲載、賠償金の支払いの3点を求め
ている。

5. まとめ

現在、日韓で問題になっている日本軍慰安婦について正しい歴史・意味を知っている日本人は
どのくらいいるだろうか。私は従軍慰安婦について知っていてもフィリピンでの理不尽な歴史に
ついて知らなかった。ロラの話や歴史を調べるとフィリピンの人々は日本とアメリカの戦いに巻
き込まれた。日本軍慰安婦とは、女性の尊厳を脅かされるものだ。これは紛れもない暴力である。
そしてロラたちは声をあげたことによって思ってもないことを言われさらに暴力をうけた。同じ
女性としてどんな状況であったとしてもこれは許されるべきではないし、被害者にとって心身と
もに深い傷を残す。ロラたちはその命がなくなるまで苦しみ続け、訴え続ける。歴史は歴史で変
えられないものであるが、そのかえられない事実に対して正しい行動を日本政府はとらなければ
いけないと思う。歴史をうやむやにしたまま将来、良い関係は構成できない。

私は、大学で社会科の教職をとっている。学校で受ける歴史は日本に都合のいい内容であると

³ フィリピン・ビサヤ地方セブ州にある都市

[https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%BF%E3%83%AA%E3%82%B5%E3%82%A4_\(%E3%82%BB%E3%83%96%E5%B7%9E\)](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%BF%E3%83%AA%E3%82%B5%E3%82%A4_(%E3%82%BB%E3%83%96%E5%B7%9E))

いわれたことがある。今回、私は本当に貴重な時間を過ごさせてもらったので将来、自分が教員になったときにも教科書に載っていなかったとしても一人の日本人としてこの事実を次の世代に語り継ぎたい。